学校番号	Ｔ０２０４

令和３年度　美術科

教科	美術	科目	クラフトデザイン	単位数	２単位	年次	２～４年次
使用教科書							
副教材等	自作教材						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・紙や布・木材や樹脂などのクラフトの基本的な素材を用いて工芸的な作品を制作する学習を行います。
・基礎的な技術を学ぶとともに、一人ひとりの感じ方、考え方も大切にします。
・他の人の作品や、伝統工芸作品なども鑑賞しながら、クラフトに対する理解を深めていきます。
・生活を彩る作品を作りましょう。

２　学習の到達目標

クラフトに関する幅広い制作活動を通じて、様々な素材を体験し生涯にわたってクラフトを愛好する心情を育む。

３　学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a.クラフトへの関心・意欲・態度	b.発想や構想の能力	c.創造的な技能	d.鑑賞の能力
観点の趣旨	多様な素材を経験することによりクラフトでの創造活動への関心と意欲を高める事ができた。	想像力を働かせて、素材から感じ取ったことや考えたことを大切にしながら制作する事ができた。	創造的なクラフトの制作をするために必要な技能を身に付けている。	クラフトや立体デザインなどの表現の工夫や工芸文化などを理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	制作の様子 ワークシート 鑑賞活動やグループワークの様子	ワークシート アイデアスケッチ 制作途中の作品 作品	観察 作品	ワークシート レポートの内容

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	平面クラフト 紙 布	ペーパーアートによる絵本作り 染めによる暖簾作り	◎	○	○	○	a:紙や布について関心を持ち意欲的に取り組めた b:想像力を働かせ、紙や布から感じ取った事を大切にしながら制作できた。 c:紙や布を加工するために必要な技術を身に付けた。 d:自他の作品について表現の工夫を理解してその良さを理解した。	観察 作品 鑑賞活動の様子や発言内容
後期	立体クラフト 木材 樹脂	桂材の彫刻による表札作り エポキシ樹脂によるペーパーウェイト	○	◎	○	○	a:木材や樹脂について関心を持ち意欲的に取り組めた b:想像力を働かせ、木材や布樹脂から感じ取った事を大切にしながら制作できた。 c:木材や樹脂を加工するために必要な技術を身に付けた。 d:自他の作品について表現の工夫を理解してその良さを理解した。	観察 作品 鑑賞活動の様子や発言内容

※　表中の観点について

a：クラフトへの関心・意欲・態度

b：発想や構想の能力

c：創造的な技能

d：鑑賞の能力

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行なう観点（もしくは重み付けを行なう観点）について、優先度の高いものから、◎、○、空欄として示している。